

人を活かす、文化を創るコミュニティ誌

2017 Autumn

Vol. 08



フレンズ

アイデアや強みを社会に活かす 共感と支援の舞台が行なわれる

第2回の1000人文化祭が10月28日に開催されます。人の持つアイデアや強みを生の声で広報し、社会に活かしていくプレゼンショーです。

まちづくりのシニアコミュニティは、多様な生き方や考え方を尊重し、その能力を最大限に発揮させて社会に活かすダイバーシティを実践しています。年一回、そこから出てきたアイデアや強みなどを発表する舞台を開いています。

共感と支援から生まれる 人的ネットワーク

文化祭当日に来場者に共感・支援カードを配布します。それに記入し、プレゼンターに渡します。ビデオ収録し、YouTubeに投稿します。フリーで、SNSに拡散してそのアイデアや強みや世界に発信します。

第1回1000人文化祭でも多くの共感と支援の輪が広がりました。人的ネットワークが、

生れ、社会に活かされています。多様なアイデアや強みのプレゼンを見聞することは、生き方の選択肢を広げていきます。更に、実際にプレゼンターとコミュニケーションを取ることでより生き方の修正や発展が見込めます。

アイデアの宝庫から イノベーションが生まれる

1000人文化祭から出てきたアイデアと強みを、デジタルネットワークのライフシフトに集積します。新たな人的ネットワークを作り、更にアイデアを集めていきます。そして、アイデアの宝庫となり、その組み合わせから社会に役立つ成果を作ります。

第2回 1000人文化祭
by一般社団法人まちづくりのシニアコミュニティ
平成29年 10月28日(土) 大阪市立住まい情報センター
10時30分~16時 ホール 天六駅上
1000人文化祭のコンセプトは「人を活かす、文化を創る」
Diversity Festival

共感と支援の輪を広げる
YouTubeで世界に発信
生き方の選択 肢を広げる
若者~シニア世代の交流
TED形式プレゼンショー

ドラッカーのイノベーションの7つの機会があります。第1にある予期せぬ成功と失敗は、多様なアイデアの組み合わせから起こります。2つ目は、ギャップの存在です。これも企業が思う価値観と、アイデアの宝庫から見えてくるニーズや市場動向とのギャップをヒントにイノベーションが起こります。第3はニースの存在です。不足している労働力やノウハウを補完するとあり、コンセプトの「人を活かす」に通じています。イノベーションが生まれる機会は、十分にあります。

24歳から73歳まで登壇 幅広い世代交流が生まれる

「人を活かす、文化を創る」のコンセプトのもと若者からシニアまで登壇し熱く語ります。歌謡からオカリナの演奏もありノリも大事にしています。

ダイバーシティの環境を創り幅広い世代交流が、アイデアや強みの発掘となります。来場は無料です。共感・支援カードを使って1000人文化祭に参加し、楽しく交流してください。

希望の居場所を町々に創る

Diversity Community



ダイバーシティは、

社会を進化発展させる

ダイバーシティとは、社会の要求の多様化に応じ、生き方、価値観、性別、年齢などにこだわらず、多様な人材を活かし、最大限の能力を発揮させるという考え方

ホッとでき、希望が湧く
居場所が必要

まちづくりのシニアコミュニティは、団塊の世代がリタイアして地域に戻り、社会に貢献できるためのコミュニティとして設立されました。活動は変遷し、ダイバーシティの考えのもとに多様な「人を活かす」場を創り希望のある社会づくりを目指しています。そこには、20代から70代まで集まってきました。ダイバーシティは、多様な世代の人を活かしていきいます。

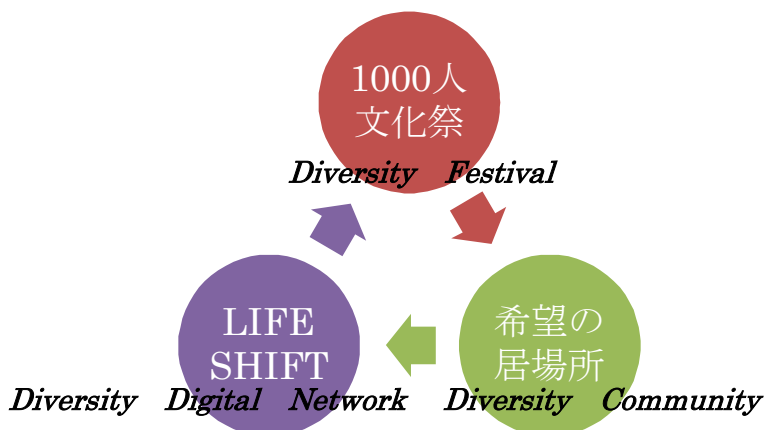
希望の居場所では、食を作り食と会話を楽しむほっこりとした場を提供しています。多様な世代が集まり楽しんでいきます。ほっこりした場が、化学変化を起こします。若者には柔軟性と好奇心があります。シニアには、多くの経験と知識、洞察力があります。それが混ざり合い有効なものになったりします。また、強みを発見し、自分ならできるという主体感ができたりします。希望が湧く居場所となっていくきます。

成果を生み出す

「人を活かす」仕組み

まちづくりのシニアコミュニティは、ダイバーシティの3つのアイテムにより社会を進化発展させます。

第1は、希望の居場所です。多様な世代、生き方などの仲間が集まり、助け合う（相互扶助）場が基本にあります。時代の変化と共に自分も変わっていく必要はありません。固定概念と偏見を打破し、創造性を再生していく必要があります。その実践が



幸福感や充実感を生みます。その環境のもとで、強みやアイデアを具体化します。

第2は、フェスティバルの1000人文化祭です。成果を出すには、多様な選択肢が必要です。多様なアイデアや強みを共感する場を提供します。新しい思考様式や世界を見て、計画と実行の糧とします。そして、多くの共感者から前向きな人達のネットワークができてきます。その自己再生の友人関係が幸福感と活力を生みます。そして、アイデアと強みを集積します。

最後に、デジタルネットワークのライフシフトです。アイデアや強みをカテゴライズして、外部に発信します。これは、収入を得るアイテムともなります。また、アイデアの宝庫として、イノベーションの機会ともなります。

ダイバーシティの3つのアイテムの相乗効果により、希望の居場所に集う仲間が、感動と目標を持ち、生き活きと活躍し、成果を生み出します。健康寿命の増進にもなります。

空き家を活用し

希望の居場所を町々に

日本は、1億総活躍社会を目指しています。つまり「人を活かす」ことです。

人口が減少して、都心部周辺でも過疎化が進んでいます。空き家も増え続けています。また約15%の人が、孤立しています。居場所がないのです。

ダイバーシティの考えを入れ希望の居場所を各地に展開すれば、この日本の課題のソリューションが可能です。デジタルネットワークの普及は、好材料です。多くの人の強みやアイデアが、発信され、活かされます。

空き家を希望の居場所に活用していきます。食を作り食と会話を楽しむ場（コミュニティ）が、町々にあれば、住む人が活性化され、まち全体も元気になります。

空き家を高齢者や独居の人がシェアハウスとして住み、人を活かしていきます。シェアハウスと希望の居場所を共用すると更に効果的です。空き家をトラソクルームにすることも効果的です。

長寿となったことは、厄災か恩恵か？この問題は、高齢者だけでなく、各世代で考えなくてはなりません。仕事のステージにおいて老後のためにシッ

現在の20歳代は、100年生きるという。これまで65歳から引退ステージに入り、15年間の老後を送る予定でした。それが35年間となり、一生の資金計画に真正面から向き合う必要がありました。

ダイバーシティが 長寿を恩恵に変える

りと貯蓄をしていく。そのために「働き方改革」が必要です。また、引退を大幅に遅らすことも必要となります。

一億総活躍社会 強みを広報し、活かす

多くの人に強みやアイデアがあります。それを具体化し、SNSを使い広報し、社会に活かすのが、「ライフシフト」です。漠然とした強みやアイデアを

どう生きるか LIFE SHIFT Diversity Digital Network

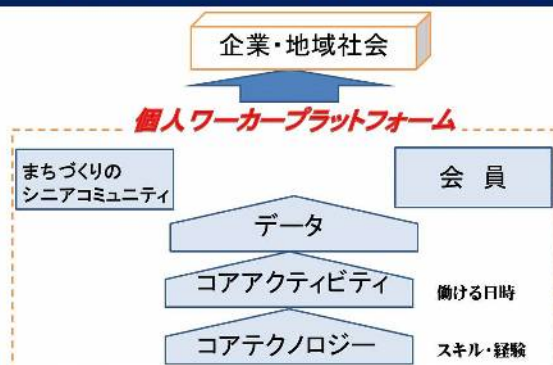
人生
100年時代

活き活きと生きる



LIFE SHIFT ベストセラー書籍
100年時代の人生戦略には、収入を得る為の知識・仲間と健康、変わるんだという気持ちの無形資産が必要と説いている

「働くをシェア」による地域活性



一生の資金計画からお金が必要と分かったら、働きましよう。たとえ一日でも一時間のすきま時間であっても、強みやスキル、経験を活かしましよう。

新しい働き方の実験 個人の働くをシェア

希望の居場所の中で具体化します。パワーポイントに落とし込み、ビデオ収録をして、SNSに配信します。当ホームページの中で、カテゴリーを分けて、社会に強みやアイデアを広報し活かします。

多様な収入を得るための 知識とネットワーク

複合的な働き方をポートフォリオ・ワークと呼びます。持っているスキルや経験を活かして多様な働きをします。希望の居場所では、ポートフォリオ・ワークに使える社会に役立つ人材を集めます。前向きな人たちの人的ネットワークを築き、商材の販路を広げます。セールスレターの研修もおこない、実践の知識を得ていきます。人生100年時代に向けた働き方改革が必要となっています。ダイバーシティを基とした新しい働き方が有効と考えます。

ライフシフトの中に個人ワーカープラットフォームを作ります。スキルや経験と働ける日時をデータ化します。地域の企業や社会に「働き」を広げていきます。地域活性となります。60代70代のアクティブシニアも体力に合わせマイペースで働けます。介護をしているビジネスパーソン、子育て中の主婦にも適しています。

マンション大規模修繕工事を倫理観をもって、格安にマネジメントします

マンションをスラム化させないために、格安に適切に修繕しましょう！

修繕積立金は、未来のため重要です。大規模修繕に談合やキックバックが横行しています。㈱倫理の修繕は、バックを取らず格安なプロポーザル方式によるマネジメントをします。50戸以下のマンションが最適です。

不正のない大規模修繕工事を

株式会社 倫理の修繕

代表取締役 前田 栄貴

大阪市都島区都島本通3丁目26-24

TEL.06-7175-4748 MAIL maeda@rinrin.in



感謝のコラム

10月28日に第2回1000人文化祭が開催されます。コンセプトは人を活かす、文化を創るです。多くの人にアイデアや強みをプレゼンしていただき、共感と支援の輪を広げていきます。有効な人的ネットワークが生まれます。

プレゼンターの一人が、生駒 祐樹さんです。24歳です。ある委員会で、しっかりとスピーチをしていて、親しくなりました。就活サポートのシェアハウスの責任者をしています。1000人文化祭では、未来像を熱く語ってくれます。この舞台から進化発展されるでしょう。

人を活かす場を創り、そこから未来の人財を育てる。これが、ビジョンです。若者からシニアまでが集まる場から集う人たちの化学変化が起きてきます。1000人文化祭は、その化学変化から社会に必要とされる文化やイノベーションが生まれることを期待しています。

1000人文化祭は、多くの方に社会貢献の意義をご理解いただき、支援をいただいています。それ故に、社会の幸せに寄与できるよう成果を出していく所存です。ありがとうございます。

一般社団法人まちづくりのシニアコミュニティ
代表理事 前田 栄貴



活動報告

希望の居場所ワールドカフェ
「どう生きるか」を3回開催

普及活動として、大阪市立生涯学習センターにて、希望の居場所ワールドカフェを3回開催し、好評を得ました。

6月30日(金)18時30分

「LIFE SHIFT」を題材に基調講演し、どう生きるかを楽しく議論しました。年金医療保険制度の崩壊が人生設計に大きく影響されると話題になる。

7月28日(金)18時30分

「人生100年引退のステーションがなくなる」を基調講演し、

長寿は厄災か恩恵かを楽しく議論しました。元気な高齢者がシェアハウスに住み、引退を楽しむなどが話題になりました。

8月28日(月)18時30分

「人生100年お金を創る勉強会」の基調講演をし、一生の資金計画について楽しく議論しました。余暇の時間を使って、仕事をシェアする個人ワーカープラットフォームを議論する。

希望の居場所3つ目の基地
塚本基地が誕生

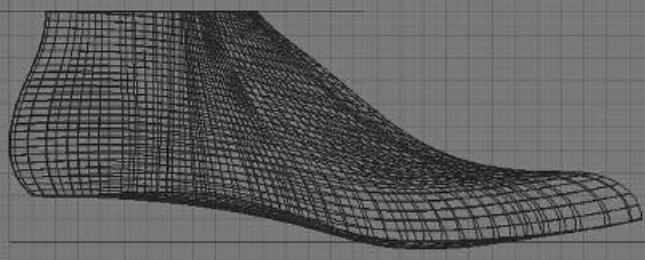
都島基地、難波基地に続いて

塚本基地をできました。大阪市西淀川区柏里の就活シェアハウスCREWSOをお借りして船出します。アイランドキッチンが特徴で、食を作り、食と会話を楽しめる基地です。10月中旬からです。楽しみです。

都島基地の交流会は、毎月12日と28日18時からです。

難波基地では、ライフシフトの収録や勉強会をしています。

ラストCAD



三次元足型自動計測機 Cute



足から健康を考える！

三次元足型自動計測機の開発に始まりインソール、オーダーシューズの企画開発など医療分野にとどまらずアパレル業界へも展開するドリーム・ジーピー！
足型データからみなさんの健康の維持向上を支援します

DreamGP
Dream Growing Platform
<http://www.dreamgp.jp>

■大阪オフィス
〒541-0046
大阪市中央区平野町2丁目6-5 みすやビル
TEL: 06-4708-4877 FAX: 06-4708-4879

■東京オフィス / My Foot Station 銀座店
〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-9 ギンザヨシダビル
TEL: 03-5579-9739 FAX: 03-5159-5076